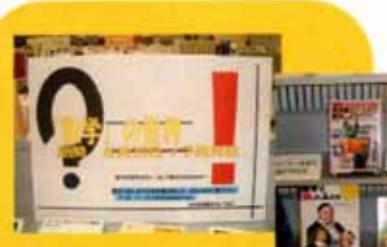


# 図書を身边に…ミニ展示

岩手県立図書館の各フロアでは、様々なミニ展示コーナーを設置して所蔵資料の紹介をしています。硬い内容のものや郷土資料など、利用者の方の目に留まりにくい図書を工夫をこらして展示しています。



## 一般図書コーナー・ 担当者から

当館にある一般書は、娯楽色の強いものより、ちょっと難しい本や、専門分野の入門書・解説書を多く所蔵しています。どの図書も調べ物や暮らしに役立つものですが、そのことを利用者の方に気づいていただいているのではないでしょうか?このような図書を展示していくことで「実はこんな本があったんだ!!」と気づいてもらえばと思います。



## ミニ展示のタイトル

(一般図書) 数学の世界、人間関係、ことばのちから(日本語)など  
(児童) あめだいすき!かえるだいすき!これでバツチ!夏休みなど  
(新聞雑誌) 梅雨だから読書、怪談、色・いろいろなど  
(音と映像) 星に願いを、耳で読書、災害とその予防など

## 音と映像のコーナー

### ・担当者から

普段目につかないような資料(CD・ビデオ・DVD)を中心に、郷土資料の紹介や災害月間・運動会など、行事やイベントにあわせるなどして、いろいろな角度から紹介しています。



## 4階



## 館内の行事がわかる イベントカレンダー

その月の岩手県立図書館の行事やミニ展示がわかるイベントカレンダーを館内に掲示し、利用者に配布しています。広い館内のあちこちで行っているミニ展示も、このカレンダーで知ることができます。



## 展示を行って考えること

### わかりやすい展示を目指して

企画展が行われる4階展示コーナーは、ガラスケースの中に資料を展示する設備になっています。そのため、古書や古絵図のような貴重な資料を盗難や破損などから保護するのに最適です。

しかし、本来手にとって読む図書をケースに入れて展示することによって出てくる問題もあります。手に取って読みたいという利用者の方からの意見もありますし、読んで理解する図書をどう展示すればわかりやすいのかということを考えなければなりません。

こうした問題には、複本があるものについては目録に明記したり、スタッフがご案内するようにしていますし、展示物にわかりやすい説明書きを添えたり、時には、博物館などから関連する資料を借りて一緒に展示するなどの工夫をしています。

### 「見る」から「読む」へつなげる展示

図書館の展示が美術館・博物館の展示と違うのは、展示で紹介した図書資料を利用できる(読める)ということだと思います。

図書館の展示は、読書や調査に役立てていただくために所蔵している資料を紹介するという役割を持っています。また、展示した図書資料だけでなく、それに関連した図書にまで利用者の方の関心が結びつくようにしていくことが大切であると思います。

目録には可能な限り書誌情報を載せるとともに、展示した資料についての問い合わせには、隨時対応するよう心がけていますが、その先に結び付けていくための案内はまだまだというのが現状です。

今後は、利用者の方が展示会場から書架へ足を運んでくれるような案内を考えていきたいと思います。

### アンケートがアイデアの源

企画展では毎回アンケートを来場した方に書いてもらっています。その感想を読むと、本当に熱心に見て下さっているのだなと感じます。中には私たちの思いもよらぬ観点での感想もあり、なるほどと思うこともあります。

厳しいご意見もありますが、すべてが次回につながる、貴重な言葉であり、私たちスタッフのアイデアの源になっています。